

愛風だより

〒339-0076
岩槻区平林寺905-1
電話048-756-8640
Fax048-756-8644
NPO法人 愛風

2023年11月号
10月25日発行

どうにかしましょう

先日、読者(以下Aさんとする)からお電話がありました。「なんだか最近、虐待とか戦争とか、気の滅入るようなニュースが多くて…」

と。報道や行政に対しても、本来の役割を全うしていれば、そこまでひどくなる前になんとかできたであろうと考えると、「高い精神性が求められる職種の人たちまで…」何をしていたのかと、憤りを感じて：自分ではどうすることもできないから、「電話してしまいました…」と。

読んでいただいた上に、こうして思いを伝えていただける、本当にありがたいことです。Aさんが心を痛めていたのは、ジャーニー北川氏による職権乱用の児童虐待やらウクライナやイスラエルなどで収束しない戦争のことなどでした。それらを引き起こしている輩だけでなく、それを知っていたであろう芸能界・報道・総務省などの監督官庁など、なんとかできる立場に居た人たちまで、そろいもそろって何をしていったんだ！という思い…。被害にあった当時の子どもたち、今戦禍にさらされている人々、その恐怖や痛みを思うと、辛い…。

こういう声をあげること、大事だと思えます。心の中で思っているだけでは、誰にも何も伝わっていませんが、言葉にすること、声に出すことで、

伝わる…。

聞いた人、見た人が、どう思うかは、それはそれ。十人十色の価値観があるわけですから、同じ意見ではないこともあります。でも、いいではないですか。気になる！ おかしいと思う！ 何とかしたい！ それを自分ではない人に伝えることで、その人もその人の考えと照らし合わせることにあります。何か、動くと思います。ちりも積もれば山です。小さな積み重ねがいつかきつと、平和につながる…。

ヒトは、過ちを犯すものだと思えます。でも、反省し、直すこともできる。間違えたなら、直すしかないです。ウクライナとロシアの戦争はもう二年…。双方の死者を合わせると軍人で十九万人、民間人ほとんどがウクライナ市民約一万人が亡くなったそうです。(推定値なので、実際にはもっと多いとのこと)。負傷者はその倍…。終戦の話も出ないうちに、イスラエルとパレスチナで大規模な戦闘…。

ウクライナを支援するために、武器を提供することは、本当に戦争を止めることに役立つのでしょうか？ 北風とお日様の競争で勝ったのは力技を駆使した北風ではありません。もっとこれ以上、死傷者を出さず、解決方法はないのでしょうか？

Aさんは教師をなさっていた方ですので、教える子の人生に関わる責任を強く感じてこられたのだろうと思います。ゆえに、「高い精神性が求められる仕事はある」とお考えだったのだろう

と…。他人事ではなく、自分もその責任の一端を担ってきた大人として、心苦しいと、思っておられるのかなと感じました。私も、齢五十を超えて久しく、後輩や子ども達が生きていくこれからの社会を、一つの歯車として支えてきたわけですから、全く責任が無いとは言えないです。自分が、戦争を引き起こしたわけでも、未成年者を虐待したわけでもありませんが…。

少なくとも、芸能界に望まぬ被害がありそうであるとは、噂のレベルですが聞いたことがあります。水商売だから仕方ないと漠然と思いい、問題として考えることもしなかった。目を向けなかったことが事態を悪化させたのかも…。

丸い地球のほぼ裏側…：はるか遠いウクライナやイスラエル…：そこに住んでいる人達、一人一人にも、日々、思い通りにいかないこと、腹立たしいことあったでしょうが、それでも、隣人をいきなり殺したりしない普通の生活が営まれていたはず。それがいきなり戦車がやってきて、銃を持った兵隊に取り囲まれ、目の前で家族が殺害される…：ミサイルで街が破壊される…。救援物資が運ばれてくるトラックの音を聞いても、装甲車が来たのでは？とビクツとしてしまう子ども…。私たちには、止めることはできないのでしょうか。本当に？

ガンジーは、武器を持たず、攻撃をせず、自治や自由を手に入れました。この地球の、未来の人達へ何を伝えたいのか。今私たちの責任が問われています。

(しずか)

トレーニングの過程で、座ったままスキーができるデュアルスキーやヒップキャンプというアウドドア用の車椅子も、日本で初めて輸入したそうです。富士山に登りたい、どんな人でも、そう思うならばできるように、三浦さんの野望は広がっています…。



(編集部)



黄色いレシート

おかげさまで、今年度上半期の黄色いレシートキャンペーン愛風配当分として、25100円を頂戴することができました。紙やのり、ペンなど、消耗品費として使わせていただきました。ご協力、ありがとうございました。

左、贈呈式の様子です。



(編集部)

編集後記

本日は霜降。寒いのは当たり前なのかもしれませんが、夏の暑さが厳しかったので、急に寒くなったような気がして、驚いてしまいます。

私の畑は、サツマイモもスイカも、植えたのが遅かったので、もう少し葉っぱにはもってほしいのですが…。霜には弱い植物たちですから、あと何日、光合成できるか…。がんばれっ!と声かけて、さいたまに戻ってまいりました。

昨日、はやくも、他社のケアマネージャーから、年始の支援についての連絡が入りました。え?もう来年の話? 驚きましたが、前もって予定をしておかないと、ショートステイも埋まってしまうし、ヘルパーさん達も、お正月休みを取りたい人は多いです。早い者勝ちで調整するならば、連絡が早いには越したことはないのでしょうかね…。

モミジはまだ緑色です。今年の山は、赤くなりません。雨が少なかったせいか、枯れて茶色い葉っぱが目立ちます。何か変とおもいつつ、季節は冬を迎えます。(しずか)

自分の買い物で
誰かを幸せにするしくみ
毎月11日は
「いい日いい街イオンデー」
イオン浦和美園店
さいたま市緑区大門3710
048-812-6464

11日にイオン浦和美園店で買い物をした時のレシートを、愛風のボックスに投入をお願いします! 皆様のお気持ちが、イオンから、愛風に還元されます。普段の運営に必要な備品等を入手する一助になっています。

三浦雄一郎さん

後期高齢になっても、世界最高峰の難関登山に挑むなど、冒険家として有名な方ですが、最近ニュースで聞かないと思っておりましたところ、記事を見つきました。三年前に倒れ、要介護4になっているというのです。

すごい人だなあと、思っては居たのですが、やはりすごい人でした。元々、お父様がスキーヤーで幼少期よりスキーはしていたようですが六十代で一度離れています。長いこと怠けて(ご本人の言葉です)いて、太っておられたそうですね。メタボ体形になっていて、不整脈、高血圧、高脂血症で、三年以内が危ないと医師に警告されるほどだったとか。

お父さんは九十歳を超えてからもスキーを続け、白寿にモンブラン山系氷河からスキー滑降を成功させ、自分は何をしているんだ?と思いい、一念発起したそう。老体になっていたので、無理せず、基礎的なトレーニングを五年計画で段階的に進め、コツコツ体を作ったとのこと。そして、七十、七十五、八十歳で、エベレスト登頂。最高齢記録。八十六歳で、アコンカグアに挑戦していたそうです。(息子さんなどの同行者の英断により、途中下山)

ところが翌年の二〇二〇年六月三日の明け方に、下半身がしびれて動かないことに気づき、泊まっていた息子さんに知らせたところ、救

急搬送されて即日入院になったのだとか。百万人に一人という発症率の頸髄硬膜外血腫だったそうで、八十七歳という年齢も考えるところ歩けないだろうと医師に言われたそうです。

とにかく手足がしびれるし、痛むし、身体に力が全く入らず、動かない。人生で最悪のコンディションだった・と回顧されています。それまで弱音なんて吐いたことなかったけれども、「がんばりようがないんだ」と奥様にこぼした・ほどだったと。それでも、息子さんも主治医もあきらめず、できる治療はしてくださったそうで、十日ほど経た頃ほんの少しながら、「昨日よりは楽になったかな」と思えたのだそう。回復の兆しがやっと思えた・瞬間、「ここからまた前進したい」と思ったとのこと。

生き方・ですかね? コップに半分の水をみて、もう半分しかないと思うか、まだ半分あると思うかという差といましようか。そう思った瞬間の身体状況は、立つこともできない状態だったそうですから、私であれば、回復の兆しととらえることすらできないかも。強靱な精神力のある方だなと。

その瞬間から、手足の感覚も無く、いばらの道であるとは思ったが、まずは、起き上がることを最大の目標にしたそうです。血種の方は、早い処置で命に別条が無い状態になっていて、医師からは、あとはリハビリ次第と言われていたそうです。でも、もともと心疾患があったわけですから、この状態でリハをするには、まず心

臓をなんとかせねばと言われ、ペースメーカーを入れたのが七月。八月になるまで、起き上がることもできなかったそうです。

その後、息子さんが頸髄損傷のリハを専門で行える病院を探してきてくれて、そちらに転院してリハに。主治医やご家族の立ててくれた計画に沿って、地道に努力。富士山に歩いて登れるくらいまで回復したいと思っていたそうです。十一月には、オンラインで講演をするくらいまで回復。その講演会を実施することができたことで、「何かをやってみよう」とさらに思うことができた。

その後、有料老人ホームにて介護をうけながら、リハを続けておられるそうですが、要介護4。身辺のことも介護を受けているそうです。

「自分の能力や行動範囲がどんどん小さくなってしまったが、介護を通じてまた新たなスタートを切ることができる。要介護の状態とは、なにかをやってみようという希望につながるものだと考えた」とおっしゃっています。

骨盤底の筋肉も効かなくなっていて、排尿コントロールもできず、おむつを着用。毎日、たゆまぬ練習を続け、とうとう二〇二二年六月、片手にストック、片手にトーチを持ち、富士山の五合目から150mの距離を聖火でつないだそうです。そういうえば、そんな映像を見たような気が・。

厚生労働省

先月号でお伝えしました受診時の院内付添についての続報です。そもそも、公的支援で病院につかえそうな支援の種類はいくつかあるのですが、いずれも病院の中では使えないとご説明しました。

その後、会員Bさんより、全日本視覚障害者団体連合会という大きな力をもった組織で、「同行援護で院内介助はできる」と説明されていることを教えていただきました。その新しい情報をもって、区役所、市役所、厚生労働省と電話をしてみました。

お役所に働いている人は公務員です。公務員は、区民市民国民の公僕として、働く…ことになっていきます。区役所と市役所の職員は、内容はともかく、こちらの訴えをきちんと聞いてくれましたし、それに対して、自分たちができることまでは、行って返答をくれました。

ところがです。厚生労働省は、そもそも、同行援護の担当者には、とりついでもうこうこうとすらできませんでした。今、便利になったのか不便になったのかわかりませんが、自動音声で振り分けられる企業も多いですね？ 厚生労働省も代表電話番号しか公表されておらず、そこへかけると自動音声で振り分けられます。私はどの部署にかければよいのかもわかりませんでしたので、交換につながるを選択しました。

この交換手に、自分がヘルパーステーションの職員であり、利用者さんの病院受診に際し、同行援護が使えない旨説明を受けたが、使えるとうたっている団体もある、そのあたりを確認したいのだと伝えました。しばらく待たされ、交換手から「担当者から、まずは区役所や市役所、県庁に問い合わせ、そちらの担当者から電話してもらってくれとのことでした。」と、取り次いでもらえませんでした。区役所にも市役所にも問い合わせたこと、伝え、それでわからないからかけたと伝えても、「区や市がどうして厚生労働省にきけとおっしゃったのかはわかりませんが、個別の案件にはお応えしかねます」とのこと。交換手に文句を言っても仕方ないので、電話すらすらながらないとは…国の機関は、一国民の疑問に答える暇はないそうです…。

厚生労働省が出している文書、同行援護が通院に使えるかどうかという質問に対しては、各自治体で実情に応じた判断をするようにという一文があるだけです。でも、さいたま市役所や岩槻区役所の職員が、国からの指示で、できないと言う判断の元となる文書があるのです。その名称も教えてもらえませんでしたので、探し出し、読みました。

「病院内の移動等の介助は、基本的には院内のスタッフにより対応されるべきものであるが、場合により算定対象となる。」等をお示しているところである。具体的には、適切なアシメント等を行った上で、①院内スタッフ等による

対応が難しく、②利用者が介助を必要とする心身の状態であること等が考えられる。利用者が介助を必要とする心身の状態である場合は、例えば、・院内の移動に介助が必要な場合・知的・行動障害等のため見守りが必要な場合・排せつ介助を必要とする場合等が想定されるので、参考としていただきたい。

右の文面がその根拠らしいのです。これだけをみたところでは、目が見えず移動するのに介助が必要で、病院側がずっと人を付けることは無理ですと言えば、同行援護を使ってもよきように思えます。ところが、病院側が人を付けることができない理由として「人手不足」をあげた場合は、福祉のサービスは使えないと市から説明されました。それは、病院側が、努力するべきところを努力していない怠慢だからというのです。

でも、その結果、病院からも付き添いが出ない、障害福祉サービスも使えない…では、利用者さんは、病院に行けなくなりませんか？ 目の見えない人は、病院に行くなどでもいいうのでしょうか？ はてさて、どこに訴えたら、この矛盾は解消するのでしょうか？

厚生労働省の右の文書には続きがあります。「なお、上記具体例については、従来算定対象としていた行為を制限する趣旨ではない。また、通院の介助は、同行援護や行動援護により行うことも可能であり、これらと通院等介助の利用に優先関係は無いため、利用者の意向等を勘案

し、適切なサービスの支給決定をお願いしたい。」

右を見る限りでは、同行援護つかえそうと思いませんか？ 行政で使う日本語では、これは、使えないという表現なのでしょうか？ 私が理解力不足なのでしょうか？ 全くわかりません。誰か、教えてください。

少し、落ち着きましよう。厚労省には二回電話をしたのですが、さんざん待たされて、一回目は担当者が別の電話に出ているからかけなおせと言われ、二回目は市役所担当者からかけさせろと言われ、つないでもらえなかった。その旨、市役所の担当者に伝えました。市役所の担当者は、少なくとも私の話は聞いてくれない、こちらで示した資料も調べて下さり、厚生労働省にも電話してくれました。

その結果、同様に担当者には電話に出てもらえず、メールを送るように言われたので、メールを送ったとの回答でした。でも、とおっしゃるのです。今までも、何度か送ったことがあるが、返答は来てもとても遅いし、来ないこともあるとのこと。だから、一週間ほど待つて、返答なければまた電話してみますが、すぐに回答できないと思いますので、お待ちくださいとのことでした。

厚生労働省の担当大臣は、今、来年度の介護報酬改定に向けて、デジタル化を推進している事業所に手厚くなるように考えているとコメントしています。現場の疑問や、意見を吸収する

ことをしない状態で、本当に国民が望む改革ができるのでしょうか？ 皆様、どう思われますか？

今、困っていない多くの会員様。お元気なうちに、制度について学んでください。使えるだろうと漠然と思っていて、いざとなったら使えないでは、なんのために、長年介護保険料を払い、税金を払い、年金を払って来たのかと、悔しい思いをすることになってしまいます。

はたして厚労省から、返答が、市役所に来るのかどうか。さいたま市は、大きな政令指定都市だと思えますから、無力ではないはず。制度を作るのもヒトですし、運用しているのもヒトです。同じ文章を読んでも、読む人それぞれに理解する内容が異なることもあります。でも、国が決めていることだからといって、おかしいことまで我慢することは無いはず。だって皆様、長期にわたり税金を払い、貢献してきているのですから。おかしいことはおかしいと、喧嘩をするのではなく冷静に伝え、修正に働きかけたいです。

市や区の担当者も頑張ってくれています。私も、微力ながら、声は出していきます。皆様からも、応援、ご意見いただければ、助かります。よろしくお願いいたします。

あともう一つ、国や市と言っても、働いているのはヒトです。親しい人からの連絡であると、全く知らない人からの申し立てよりも真剣に受け止めてもらえたり、早く対応してもらえたりとい

うこともあるかもしれません。公僕ですから、建前では、そういう差をつけてはいけないことになっていきますが、実際問題としては、忬度が働くなどあるのは避けようがないようです。もし会員様の中で、国や市に対し、発言力をお持ちの方がいらつしやいましたら、ご協力をお願いいたします。

誰もが年をとり、誰であつても障害をもつ可能性があります。その時に、病院にかかりたい。娘や息子に仕事を休ませてまで付き添わせるのは望まないが、ヘルパーに付き添ってもらえれば、受診できる。その付添に介護保険や障害福祉サービスが使えるようになれば、助かる人がたくさんいらつしやいます。

(理事長 久毛しずか)



じゃんけんぽん



実りの秋を迎え、

会員さんや利用者さんから、サツマイモ・柿・キウイ・里芋・イチジクなどご寄付いただきました。愛風の子ども食堂登録の人数ではさばききれない量でしたので、十月二十二日のやまぶきまつりで、販売させていただきました。この現金は、お肉などの食材購入にあてさせていただきます。ありがとうございました。

また、愛風のちらしをご覧になって、会員として愛風を支えたいと連絡くださったS様より、子ども達に使ってと現金でのご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございます。微力ながら、できる支援を続けてまいります。(愛風)

住み慣れた地域での

生活支援に取り組んでいる

NPO法人愛風

を 応援します!

		マッサージ・はり 阿部マッサージ治療院 要予約：090-3132-5731 見沼区大和田町2-903
和菓子店 若竹 048-754-2650	照医堂はり治療院 休院日 毎週日曜	予約制 ☎757-1200 渡辺幸夫
お正月用 おもち お祝いの引き出物等承ります!	岩槻6209-2/カラオケ：昼13~16時 千円(火・木・金は歌い放題)	むげん ☎749-4621 定休日：日曜と月曜
店舗営業時間11~翌朝5時/日曜祝日11~翌朝3時	永楽食堂 ☎756-2498 出前配達時間 11~15時/17~21時	プラスチック金型設計製作 城町2-6-41
院長 アスレチックトレーナー 竹内貢 本宿444-19	竹内接骨院 ☎758-1345	中村金型製作所 ☎756-9188
毎週 月・火定休日.	おしゃれ床屋 はやし. ☎794-5675	はり・きゅう・りはびり 出張・無料送迎あり. 治療院 すきつぶ 048-711-9273
お好み焼き 一文 ☎756-5543	岩槻5477-2 定休日 月曜	どんなに小さな工事でも大丈夫. 一般建築塗装 代表 松本睦男 090-3427-8452
扶桑工業株式会社 西原台2-1-143	お問い合わせ ☎048-757-6413	火曜と第1・3日曜休み 西町4-1-25
訪問理容・美容も致します。火曜休み	理容室 レオン ☎757-7750	ビューティーサロン レオ ☎758-0415
皆様の毎日の一助を エアコン部品製造加工	藤原精密 ☎757-2799	マミーマート岩槻店2階 ほんまる歯科医院 0120-6480-78
月1回 うたごえ喫茶 自由参加です	喫茶みのり ☎757-7318	9:30~21:00 定休日：日曜 とわそりーぬ ☎756-4732
-初心者、小・中学生指導します-	囲碁サロン琥珀 ☎090-3210-4392	ベル・ジュバンスやっています (火曜・第3日曜定休) タマ美容室 048-754-8834
-電気のことなら何でも-お見積り無料です。	ナカヨシ電器サービス (西町) ☎757-6561	-無い本は、ご注文をお受けいたします- 岩槻書店 ☎757-4725
あなたもきっと気づく。自分で治す力。	埼玉むつう整体院(予約制) 090-5335-8170	新車・中古車○車検-代車無料もあり。 野澤自動車 (浮谷) ☎798-1003
鉄・包丁、砥ぎます。高品質・低価格めざします。	大平畳店 (本丸) ☎757-1496	木曜定休：やきとり早めのご注文を.. 肉のやまざき (本丸) ☎758-1424
		毎週火・第2・第4月・第3日曜定休 ゆうき美容室 ☎757-8238



共生の思想

今、人々の価値観が多様化しているので、一つの価値観で状況判断し、問題解決するのは難しい。だから多様な価値観を認め合う社会づくりがより大切になる。一元的な思考の優位性にこだわりすぎて相手を抹殺したり、独善的な行動が支配する事態は危険な状況を拡大するだけです。今こそ、相手のことを思いやり、共に生きようとする「共生の思想」が大切だと考える。

何と共生かというところで、私は次の8つをあげたい。1. 自然と人間 2. 生産者と消費者 3. 農村と都市 4. 障害者と健常者 5. 高齢者と若年者 6. 生徒と教師 7. 外国人と日本人 8. デジタルと人間。今回は、1の自然と人間の共生について投稿する。

自然と人間↓国連が目指す「脱GDP指標」

国連も、脱GDP(事務総長肝入りプロジェクト)を補完する新しい指標づくりに乗り出した。GDPは「幸福に貢献する人間活動」を評価しないが、地域にダメージを与えるような活動に「不釣り合いな価値」を与えている。

例えば「森林伐採」。乱獲、化石燃料の採掘と燃焼は、すべてGDPを増加させる。数字の上では、児童労働や武器取引も経済成長にプラスになる。

GDPは国の経済的豊かさをはかる物差しで、国内で一定期間に生産された財やサービスの合計。そのために、政治リーダー、企業、財界等が四半期ごとの、増減率に一喜一憂する。

でもである。GDPが増えても人々の幸福には必ずしも結びつかない。その証拠にGDP世界第三位の日本で「生きづらさ」を感じながら暮らす人たちは増加しており、貧富の二極化も進んでいる。

国連の目指す新指標↓人種・性差別のない社会に向けた取り組み、無償の家事労働、後世で質の高い教育、生態系の保護・従来は価値として評価でいかなかった「私たちが大切にしていること」を正確に反映し、GDPを補完する指標を開発することを目指しているらしい。

(清春)



猛暑の異変!?

一つは、ユリウスが委嘱してすぐに花を咲かせてしまったこと。シソ科と相思しますので、秋に花穂と思っていました。春に咲いてしまいました。今(十月半ば)は、花穂全然出ていません。

彼岸花の花期がダラダラと長かった。いつもはお彼岸という和一斉に花をつけて、一斉に一週間くらいで終わってしまう・というイメージでした。早いものはとくに終わり、遅いものは今真っ盛りで咲いています。何日か前に利用者さんの庭で黄色の彼岸花のつぼみを見つけて写真を撮らせてもらいました。まだまだこれからという様子でした。

もう一つ。金木犀が今年が遅い。一年前の日記に金木犀満開であったのが二週間くらい前。暑かったり急に寒かったり・と木々たちも、エツエツエツ?と迷っているのでは?と思えます。

もう一つ。柿の実が赤くなっているその下の枝に花を見つけました。春先に咲くあの花です。この季節に咲くことは、「くるい咲き」ではなく「戻りバナ」と言うそうです。変・変・変・変・変ですね・。

最後に家庭内の異変。茶ダンスの一番下の扉の中にストックしてあった缶詰のいくつかが破裂しました。みかん缶・トマトホール缶・フ

ルート缶・の〜個もありましたか:。蓋が盛り上がり、いまにもはじけそうです。開けて食べてみると鉄臭くて食べられません。捨てました。もう少し気づくのが遅ければ、“ボンツ”と音がしたのかもしれない。いくつかは、缶が錆びて穴が開き、水分は全部外へ流れ出てしまい、中身はカビだらけ・になっていました。大掃除になりました。大事件でした。

余談ですが、我がつれあいは、あんみつが大好き。小豆煮たとすると、その餡を入れたり、白玉団子を入れたりして、果物の缶詰もボンボン空けて大鍋に大量にみつ豆を作ります。それをどんぶりに入れて食べるのです。育ての親であるお姉さんが作ってくれたスイーツだったそうで、思い出の味なのでしょう。気が向いたら、私たちにも作ってくれるかもしれません。そんな異変なら大歓迎ですよね。

(富美子)

熊 実らない秋

今年は、熊に襲われた:というニュースをよく耳にします。東北の山のくぬぎやしいなど、どんぐりを実らせる樹を調査してきているようですが、今年は記録史上一番の凶作なのだそうです。原因はこれから解明されてい

くのでしょうか、天候の異変が影響したことには想像できません。農作物として栽培されている柿や栗だつて、傷になったり、こぶりだつたり、私の家の栗などは、実つた実がみどりのうちに、雨が不足して皆落ちてしまいましたので、この秋は収穫できませんでした。

ましてや自然の雨だけが頼りの山の木々は、過酷だつたことでしょう。先日、やまぶきまつりがあり、文化公園に愛風もブースを構えました。公園の中には、立派なクヌギがありまして、大きなどんぐりがたくさん落ちていましたが、みれば、どれも、中がスカスカでした。

山に食べられるはずのものが無く、冬眠に備えて太らなければならぬ熊も、必死なのでしょう。栽培されている作物や人の出す生ごみなど、生きるために探しに山から出てきて:いるのでしょうか。また、農業従事者の高齢化に伴い、全国に耕作放棄地が増えていきます。耕作放棄地は、たつた数か月で藪になります。藪は、野生動物の通路や隠れ場所になります。出てきた熊を撃ち殺すだけでは、根本の解決にはならないように思います。

暖かい地域にしか生息していなかった昆虫がどんどん北上しています。そういう生き物全体の変化から、人だけが無縁でいられるはずありません。熊に殺されることも、熊を殺すことも、これ以上増えませんかように:。

(しずか)